

# 次期「東かがわ市基本構想(案)」に係るパブリックコメント結果の公表について

公募対象: 東かがわ市基本構想(案)【令和6年度～令和15年度】

募集期間: 令和5年7月3日(月) から 令和5年7月18日(火) 午後5時15分 まで

この度は意見公募を行った上記の案件につきまして、ご意見を応募いただき、誠にありがとうございました。提出いただいたご意見及び本市の考え方につきまして、下記のとおり公表いたします。

## 記

No.	該当箇所	ご意見の内容	本市の考え方
1	基本構想案 1P	基本構想から、戦略、各種計画に線が伸びているが、このフロー図では戦略も計画も同列の扱いになるため関係図に応じて正しい整理が必要ではないか。	「東かがわ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、基本構想に基づく人口減少対策と地域活性化策の基本的方向、具体的施策を示す基本計画として位置付けており、各分野の基本計画とも関連し、整合性を図る必要があることから、このような図示となっています。
2	基本構想案 3P	全体を囲ったオレンジの枠が基本構想や次のページから出てくる「つながる」と同じ色である。カラーで色分けするのであれば混同しないような色を選ぶべきではないか。 同様にまちづくりアプローチ、本市の取り組みのカラーが「ともに」と同じであるため、これは「ともに」の意味であると混乱するので色の変更が必要と思う。	配色については、色のユニバーサルデザインにも配慮し、東かがわ市基本構想審議会で検討してまいりました。3Pについては、「まちづくりの課題と解決に向けたフロー図」であり、4P以降のイメージ図等と関連付けた整理としていませんが、デザイン等の表現については、再度検討いたします。
3	基本構想案 4P	『つながる 未来』とスペースで分けているが、その上の『つながる未来を～』は分けていない。文言の統一が望ましいのではないか。またあえて空白を開ける意味について説明がほしい。  まちをプラットフォームとすると、主体の「そと」は図で示す場合、「そと」は本来プラットフォームの外に書き、そこで連携するイメージで書くべきだが、イラストではまちのなかに「そと」が入っている。これはイメージ図としてそぐわないのではないか。プラットフォームの中に「ひと」があるので、市外の人を対象としていないというイメージになっている。中段の説明でそとの中に市外のヒト・モノ・コトが定められていることから、やはりプラットフォームをまちとした場合外に出すべきである。もしくはまちと市は別物であるという表記がないとこのイメージ図はやはり矛盾している。	文言等の表現については、再度検討いたします。  市外から入ってくるヒト・モノ・コトも、まちづくりの主体の一つであり、将来像の実現に向けたプラットフォームの一員として整理しています。将来像では、東かがわ市でつながる様々な主体が、東かがわ市というプラットフォームにより、つながる未来の実現に向けてまちづくりに取り組んでいくことを表現しています。

		行政が別れているが4つの主体との乖離を感じる。連携であれば理念の円の中に行政も入れることで全体的な関係ができるのではないか。今の図では行政は4つの主体が理念、ビジョンを行うのを見守るという相関図に見れる。プレゼンテーションとしての意味からイメージ図は全面的に見直しが必要と考えられる。	「つながる未来」を創造するプラットフォームとして機能するまちを目指す中で、つながりや仕組みづくりについては、行政が様々な主体とともに取り組み、その連携を包括的に推進することを意図しておりますが、デザイン等の表現については、再度検討いたします。
4	基本構想案 5P	4P のイメージ図では、黒枠、背景色あり、黒字なのに、5P では色枠、背景無し、黒字である。デザインの統一が必要ではないか。これはともに、つづくも同じである。	デザイン等の表現については、再度検討いたします。
		【】のなかで「なら」の前後に空白がある。これは左右の単語を同じように目立たすための手法だが、東かがわの基本構想なので、わざわざ東かがわを強調する必要はないと思われる。タイトルと同じように【東かがわなら つながる】というかたちで、後半のつながるを強調すべきではないのか。	3つの基本的理念の統一イメージとして、「東かがわ なら ●●●」と表現を統一し、単語ごとに空白を入れることにより、市内外の人に向けて「東かがわ」と「基本的理念」の両方を強調する表現としています。
		「たて・よこのつながり」とあるが、イメージ図は円で繋がっていて、縦横の図式化がなされていない。縦・横と書くのであればイメージも縦横、イメージの通りにいきたいのであれば「輪のつながり」としないと図とテキストがずれている。	文言等の表現については、再度検討いたします。
		重なり、浸透し、開かれ・つどうまちづくりとあるが、開かれとつどうの間のみ「・」にした根拠はなにか。ぼつてんは2つの単語を複合し1つの単語のように認識される場合に用いられるが、あえて、重なり、浸透しと分けて2つを複合する意味はなにか。	文言等の表現については、再度検討いたします。
5	基本構想案 6P	4P のイメージ図では、黒枠、背景色あり、白地なのに、6P では色枠、背景無し、黒字である。デザインの統一が必要ではないか。これは他のビジョンも同じである。	デザイン等の表現については、再度検討いたします。
		4P では「ひと・しごと・まち」と1つの繋がりに見えるが、説明文書は「人・仕事→まち」に見える。イメージ図の書きぶりと、説明文の書きぶりに齟齬が見られるがどちらが正しいのか統一すべきと思うがどうか。	矢印表記ではなく、「ひと・しごと・まち」の順番において、ビジョンイメージを表現しています。
6	基本構想案 9P	基本構想が4P では円で繋がっていたが、この図式では横に並んでいる。かつ、つづくが他の2つに比べ1つ下がった形となっている。統一を図るべきではないか。	4P の将来像イメージ図を基本構想の体系に置き換えたものが9P の基本構想体系イメージ図です。デザイン等の表現については、再度検討いたします。
		つながる未来は、4P のイメージではビジョンの中になっている。この図式では左上にあるので、統一するならビジョンの下に置くべきではないか	コンセプトについては、基本構想全体を包括するものとして、外出しでの表現としていますが、デザイン等の表現については、再度検討いたします。

7	全般	<p>「東かがわ市」という地名を空欄にしてみた場合、ほかの地域にも当てはまる内容だなと感じました。</p> <p>独自の取り組みや方向性があると、市外への方への訴求もしやすいのでは、と感じました。</p>	<p>次期東かがわ市基本構想は、現基本構想の分析、こどもたちとの対話会事業、アンケート調査等により、本市の課題等を精査し、東かがわ市基本構想審議会等により審議を重ねてまいりました。他自治体との方向性の違いとしては、東かがわ市基本構想審議会の審議を経て、本市のまちづくりアプローチとして、「若い世代に評価されるまちづくり」、「人口減少に適応したまちづくり」の2つを強調しています。また、次期基本構想に基づき、未来につながる持続可能なまちづくりに向けた独自の取組等については、総合戦略や各種基本計画等により具体化することになります。</p>
8	全般	<p>パブリックコメントの募集の意欲があまり感じられない気がします。</p> <p>法規的に制約があるのか分かりませんが、市内で事業をしている立場である私には届いてきませんでした。</p> <p>市の今後の方向性を考えるうえで広く意見を募る、という建前のはずなのに、市長をはじめとして募集に対して積極的とは感じられませんでした。</p> <p>私自身、調べ物をしていてたまたまこの活動を知った程度です。</p>	<p>これまでのパブリックコメントでは、市ホームページ、広報紙、市役所窓口での掲示で周知を行ってまいりました。今回の基本構想のパブリックコメントにおいては、より広く意見を募るため、新たに市公式 SNS(フェイスブック、ツイッター)での周知、市内小中学校での掲示、香川県立三本松高等学校全生徒へのチラシ配布、市内観光施設・コミュニティセンター等での掲示、社会福祉協議会・コミュニティ協議会等の関係団体への周知を行いました。また、QR コード等の読み取りによるインターネット回答を導入し、スマートフォン等から回答できる体制を整えました。今後、より効果的な情報発信や意見募集が図られるように取り組んでまいります。</p>
9	全般	<p>基本構想という素晴らしい取り組みにおいて、検討の進捗状況や意見の募り方などはさらによくする方法はあると思いました。</p>	<p>進捗状況の公開や意見公募の手法等について、より効果的な情報発信や意見募集につながるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>